

君津中央病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	がん診療均てん化のための診療情報データベースの構築と活用に関する研究（倫理委員会承認番号：472）
当院の研究責任者 （所属）	加藤 友紀子（医務局診療録管理室）
他の研究機関及び 各施設の研究責任者	国立がん研究センターがん対策情報センターがん臨床情報部 研究責任者 東 尚弘 全国の院内がん登録実施施設のうち本研究への参加に同意した施設
本研究の目的	平成 19 年にがん対策基本法が制定され、がん診療均てん化のための方策が多角的に打ち出されています。しかしながら、その対象である診療実態を継続的に検討するような体制は未だに未整備です。原因の一つは、いろいろなデータが独立に集積され活用されていないためと考えられます。そこで、本研究では、院内がん登録と DPC（診療データ）の一元管理を試み、がん医療の実態を把握するデータベースを構築するとともに、その活用法を検討することを目的とします。
調査データの 該当期間	2016年10月1日～2019年3月31日
研究の方法 （対象となる方）	全国の院内がん登録実施施設のうち研究参加施設の院内がん登録 2017年症例に該当する患者さま
研究の方法 （使用する情報）	本研究では情報として院内がん登録と DPC データを用います。このデータに含まれる情報は以下のものが挙げられます：性別、診断名、診断年月、初回治療方針、ステージ、施設名、入退院年月日、診療明細等
資料・情報の他機関 への提供	なし

個人情報の取扱い	<p>個人情報、研究参加施設において連結可能匿名化と暗号化を行います。国立がん研究センターへのデータ提供は、アクセス権を付与された担当者のみが利用できるシステム上で行われます。収集されたデータは国立がん研究センターの高セキュリティ領域に保存され、研究責任者により個別のアクセス権を付与された者のみがアクセスできる状態で保管されます。外部へのデータの提供は行いません。外部への成果の公表は、学会・論文発表あるいは公開の報告書といった形で行われ、学術・がん対策に活用されます。報告に際しては、常に集団を記述する数値データのみの報告とし、個人が特定される可能性のある個別データの報告・公表は一切行わない、かつ特定の個人が発表成果から同定できないように十分な配慮を行います。集められた個々のデータに関しては、研究終了（2022年3月31日）後は復元不可能な形で破棄をします。</p>
本研究の資金源 (利益相反)	<p>国立がん研究センター研究開発費、及び厚生労働省委託費・がん対策評価事業の二つを財源としています。他の団体からの資金提供は受けておらず、起こりうる利益相反はありません。</p>
お問い合わせ先	<p>国保直営総合病院 君津中央病院 診療録管理室 副主幹 加藤 友紀子 TEL0438-36-1071</p>
備考	